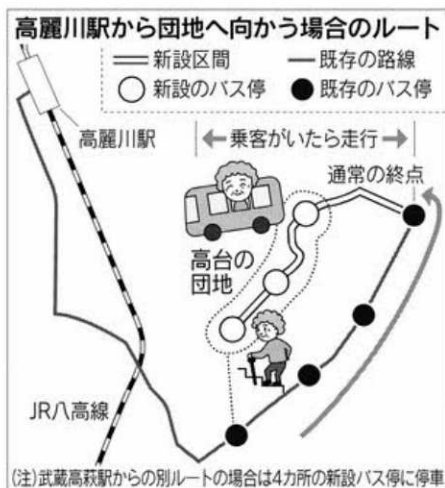


# イーグルバス 埼玉・日高の路線

## バス乗客希望で 終点の先へ運行

中堅バス会社のイーグルバス（埼玉県川越市）は、乗客がいる場合のみ延伸走行する新しいタイプのバス路線を新設した。終点の先に1・2キロの延長区間を設けて降車専用のバス停を4カ所設置。希望者がいる場合はそのバス停まで運行する。郊外団地は住民の高齢化でよりきめ細かい路線設定が求められ、乗客が少ない場合は終点で運行をやめる効率的な手法で、バス利用者を増やす路線を新設したのはこま川団地（埼玉県日高市）を走る日高・飯能路線。1日から「おでかけサポート便」の名称で団地内



### 団地内の高台に停留所4カ所

の高台を循環し始めた。JR武蔵高萩駅発と同高麗川駅発の2系統がある場合は終点から延長区間に入り、いずれも希望者がいる間に乗り入れ、新設バス日10便あるが、うち半数



停3〜4カ所に立ち寄る。車内に利用客がいないうちは立ち寄らない。平日の午後11時台から午後3〜4時台にかけて4便運行。高麗川駅から

こま川団地の高台に設置された降車専用のバス停。上り下りしなくてもよく「なる」など歓迎する住民が多い。ただ、新設したバス停が降車専用であることから乗車もできるよう求める声もある。

利用客の要望に応じて運行する交通機関はデマンド交通と呼ばれ、過疎地を中心に広がる。今回イーグルバスは、その一種で、谷筋を走る路線のため、高台に暮らす住民には不便で、遠いところでは自宅とバス停までの間を10分近く階段などを上り下りしている。日高・飯能の両市にまたがる路線延長で「重たい買い物袋を持って坂道をイーグルバスの生活バス

路線（計4路線）の一つで、1日当たりの総運行本数は約100本。効率的なダイヤ設定などで、13年度の利用客数は前年度比約6%増の29万8千人と過去最高を更新した。ただ、国から運行補助金を受けても、赤字の解消には至っていない。住民の高齢化などで首都圏でも郊外団地を含めバス路線は縮小傾向にある。今回はまだ実証運行の段階。今後は利用客のニーズをみながら、乗車も可能な完全なデマンドの実現を含め本格運行の道を探りたい」と話す。利便性を高めながら、利用者を増やして収益向上につなげるモデルをつくる。